

帰山議員

防災施設の整備について

**問**災害本部と避難所の設置場所等に不安がある。また備蓄品の見直し、総合避難施設の設置を考えてはどうか。

**答**災害対策本部の予備施設は市役所庁舎の近接施設を指定しているが、庁舎近隣全体が被災した場合を想定すると指摘の危惧は十分予想される。また、全市にわたる災害を想定した場合に避難所が公共施設だけで十分なのかなどの課題もあるため、民間施設との災害応援協定を締結するなど対応を進めていく必要があると考える。

なお、災害用の備蓄に関しても近隣の県、市町等との災害応援協定で対応していくほか、市独自でも必要なものについては順次計画的に確保していきたい。また総合的な避難施設等の必要性もかんがみ、建設予定の新体育館に避難施設機能を備えることも検討したい。

市内バス路線について

**問**利用調査を行い、通院等の利便性や、奥越明成高校の設置に伴い、ダイヤや路線の見直し、運賃補助を検討してはどうか。

その他の質問  
・勝山市における公園の植樹について

**答**バス運行は、今後利便性向上と費用対効果を検証し、将来を見据えた勝山市地域公共交通計画の策定に着手したい。高校の再編に伴う大野方面への増便については、県へ強く要望してきた。その結果、朝に大野方面へ向かう1便に加え、既に運行している北郷線に接続する形で増便し、2便運行する方向で協議を進めている。

高校生に対する通学費の補助については、高校再編による負担増となる部分について、県に対し前向きな対応を要請していきたい。



乾議員

入り込み人口と経済効果について

**問**当市に訪問いただき観光客が増加しており誠に嬉しい。まずは地域経済にどれほどの効果をあげているか数値的に把握すべき。

**答**その具体的な数値を基にして取り組む受け入れ事業を検証・判断し、今後の方向性をみいだすべき。

**問**現在策定中の勝山市観光振興ビジョンでも、観光消費額の増加を最終目標として掲げる予定である。それを評価し次の取り組みにつなげるためには具体的な数値の把握による客観的な判断材料が不可欠であると考えるので、今後、入り込み客統計による調査に加え、市独自の調査による数値の把握手法について研究していく。

観光ビジネス学習会の開設

**問**観光客に市内でお金を使っただけのために観光産業の振興を進めているが、当市はスキージャム以外は観光というサービス産業の経験がきわめて浅い。

これから目指す産業は、1次産業から3次産業までを丸めた6次

その他の質問  
・除雪対策について  
・ジオパークについて  
・こみ対策について

産業という新しい分野の産業。

まずは観光のノウハウや稼げるビジネスを進めていく基礎知識を学び、刺激を受け、それぞれが実践の場で生きる知恵を模索し、技を磨いていく継続した職業訓練の学びの場が必要。所見を伺う。

**答**今後、商工会議所や観光協会と連携し、ご提案の幅広い職域から参加が可能なセミナー開設に向け研究を行っていく。

